

止めよう！辺野古埋立て 共謀罪法案は廃案に！



6.10国会大包围



「辺野古埋立て阻止・共謀罪廃案へ、いまこそ、気持ちをひとつに集まりましょう」——。6月10日14:00~15:30。暑い夏の日差しの下、国会議事堂は、18000人の「共謀罪・沖縄辺野古基地NO！」の怒りの声に包まれました。これまでの国会審議で、政府の「オリンピック開催に不可欠、テロ対策」などの「共謀罪」新設理由は、完全に論破されました。加えて、国連人権理事会の特別報告者の「共謀罪はプライバシーを侵害する恐れがある」との書簡に対して、誠実に回答するのではなく、抗議するという暴挙です。さらに、「そもそも」について辞書を引いて調べたと答弁したが、「首相が自ら辞書を引いて意味を調べてものではない」との答弁書を閣議決定したというのです。こんなデタラメな態度で、法律が決められてはたまたものではありません。12日からの週、緊迫です。何としても安倍暴走政権を打倒するために、怒りを込めて発言し、行動しましょう。（水久保文明）

「共謀罪」プライバシー保障措置を 国連報告者

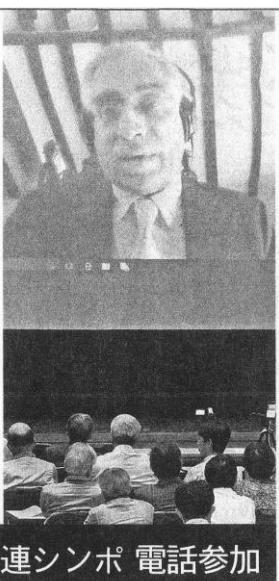
「共謀罪」の趣旨を含む組織犯罪処罰法改正案が国民のプライバシー権を侵害する恐れがあると指摘した国連特別報告者のジョセフ・ケナタッチ氏が9日、東京都内で日弁連が開いたシンポジウムに、インター ネット電話「スカイプ」を通じて参加した。法案について「市民のプライバシーを守るための保障措置が必要不可欠だ」と強調した。

ケナタッチ氏は国連人権理事会から任命され、プライバシー権をテーマに各国の状況を調査し報告している。シンポには共謀罪に反対する約三百七十人が参加。ケナタッチ氏は、五月十八日付で安倍晋三首相に宛てた書簡の概要を説明し、参加者からの質問に答えた。

ケナタッチ氏は、法案が処罰しようとする「共謀」は、捜査機関が市民を監視下に置いていなければ把握できないとし、「法の成立は監視に法的根拠を与える。警察などが勝手に監視を行えないよう措置を講ずるべきだ」と訴えた。

具体的な措置として、警察などから独立した機関が発行する令状がなければ監視できないよう規定したり、監視の内容を監督する機関を設けたりすることを提言。政府案にこれらの措置は見当たらず「一連のパッケージとして手当することで、民主国家としてきちんとやっていると、国内外に示せる」と話した。

書簡では保障措置に関する回答を求めたが、政府はまともに回答していない。ケナタッチ氏は「このまま法が成立した場合「国連人権理事会に日本政府の対応を報告することになる」と述べた。(石井紀代美)



日弁連シンポ 電話参加

「スカイプ」を通じ意見を述べる国連特別報告者のジョセフ・ケナタッチ氏=9日、東京・霞が関で

余録

人を説き伏せようといふ弁論の一つに「すべりやすい坂」論法というのがある。もしも最初の歯止めを失えば、事態は坂をすべり落ちるように極端な行動を次々に誘発し、重大な破綻を招くという論法である▲抑止を怠れば相手は歯止めなく勢力を拡大するというドミノ理論もその一つだが、その多くは詭弁である。「共謀罪」改め「テロ等準備罪」新設の推進論者は、捜査当局による乱用を心配する反対論もその一種とみなしているようだ▲これに対しして実際に坂のすべりやすいことを、戦前の経験から主張してきた反対論である。制定時の内相が「最も極端なる者を取り締まる」と答弁した治安維持法の言論一般への抑圧を振り返れば、急坂に油が流れる図も

思い浮かぶ▲テロ等準備罪を設ける組織犯罪処罰法改正案が衆院を通過し、来週から参院の審議に入る。それならば衆院の審議で野党のいうすべりやすい坂論は詭弁だと論破されたのか。むしろ明らかになつたのは政府の説明のあいまいさだろう▲対象を「組織的犯罪集團」に限定し、重大犯罪の「計画」と「実行準備行為」を要件とすることで危ない坂を否定した政府である。だがそのどれもが事實上は捜査権乱用を防ぐ歯止めにならない可能性を示した衆院の政府答弁だった▲戦前のような権力乱用はそう容易に国民が許すまい今日だが、すべりやすい坂は階段にしてすべり止めをつけるぐらいの算段はいつの世も必要である。第2院としての存在意義が試されている参院の熟議だ。

2017.5.25